

あけましておめでとうございます



昨年12月16日(火)、クリスマス会が行われていた横手・本郷地区いきいきサロンでの一枚。同地区のサロンには、今年1月に101歳を迎える方をはじめ、元気な方々が多数参加されており、サロン活動を通じた地域の交流が健康の源となっているようです。

この日も笑いが絶えない楽しい雰囲気の中での撮影となり、本年最初の社協だよりを皆さんの笑顔で飾っていただきました。

本年も皆様にとって笑顔が多き年でありますように。

本年も地域の皆様と共に福祉活動に取り組んで参ります

あけましておめでとうございます。
 新春を迎え、心も新たになお一層「誰もが安心して暮らすことのできる地域づくり」を目標に、地域の皆様と共に福祉活動に取り組んで参りますので、本年もよろしくお願ひいたします。
 年頭にあたり、地域で福祉活動にご尽力されている皆様、また次代の福祉を担う児童・生徒より本年の抱負を頂きましたのでご紹介いたします。

横手

横手地区ボランティア
 連絡協議会会長

藤井 多美夫さん



今年はいくつか以上各団体間の交流を深めるため、活動の悩みなどを気軽に話し合い、情報交換できる機会を設けたいと思っています。また、三月に開催予定の「ボランティア」も今年で二十回目の節目を迎えます。各団体・関係者のご協力を頂きながら、成功に向けて頑張りたいと思います。

増田

増田福祉センター
 協力員会会長(自治会長)

照井 正市さん



認知症に関心を持つ方が増えており、高齢者の認知症を予防する活動の必要性を感じています。今年が高齢者が集う機会を利用した脳の活性化体操やゲームなど、地域の方が楽しみながらできる予防活動に取り組んでいきたいと思っています。また、これからは福祉関係者等と連携し、様々な活動を進めていきます。

大森

横手市民生児童委員協議会 会長
 守屋 桑悦さん



東日本大震災から今年で四年目を迎えようとしています。当時、私は訪問活動を通じて、民生児童委員の存在意義を強く感じました。近年、大雪や台風などの自然災害が多くなっています。こうした災害の発生時や地域の方から相談を受けられるように、今年には社会福祉協議会や福祉関係機関との連携強化に取り組みます。

十字

横手市身体障害者福祉協会
 連合会 会長
 内山 純男さん



昨年十二月、障がい者の更生援護功労者として厚生労働大臣表彰を受賞し、その際、皇居で天皇・皇后両陛下に拝謁し、激励のお言葉を頂戴いたしました。そのお言葉を力に、年男となる今年には、羊の毛のように温かく、また禅語の柔軟心で障がい者の更生援護や障害者権利条約の理念普及のために、皆さんと共に活動していききたいと思ひます。

平鹿

平鹿中学校二年
 (福祉教育活動推進支援校)

森屋 楽さん



僕は去年、平鹿中野球部の一員として、地域のお年寄り世帯の家屋周りの除雪作業を行いました。重い雪に四苦八苦しながらの作業でしたが、住民の方の感謝の言葉に身も心も温かくなったことは忘れません。僕たちは生まれ育った地域のために何が出来るかを考え、今後も地域貢献活動に励んでいきたいと思ひます。

雄物川

東里地区
 いきいきサロン代表世話人
 (民生児童委員)

首藤 能理子さん



世話人の仕事は大変ですが、サロンに参加してくれる皆さんがいつも楽しみに待っていてくれるので、それが心の支えとなっています。今年も、サロン活動を通して見えてきた地域の課題を、みんなで協力しながら解決していききたいなあと思っています。このサロンが地域の「笑顔の場」であり、支えあいの場でもあるように頑張ります。

山内

土淵地区 区長
 高橋 誠一さん



降雪期を迎え、特に高齢者世帯ではゆっくり眠ることのできないほど心配であると思ひます。地区では防災組織を立ち上げ、ネットワーク活動で支援の必要なお宅の見守りや助けあいに努めています。降雪量によっては支援の手が届かないのが現状です。難しいことではありますが、活動の幅を広げて助けあいの輪をつなげていききたいと思ひます。

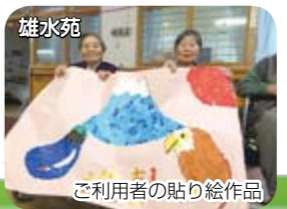
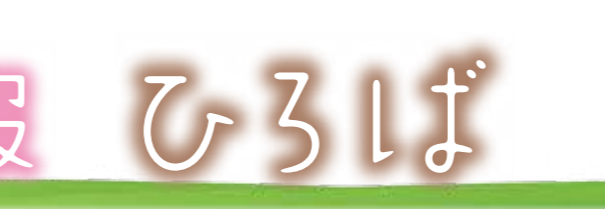
大雄

阿気小学校 四年
 (福祉教育活動推進支援校)

小玉 峻也さん



ぼくたちは、十一月に三施設合同ふれあい祭りに参加して、民謡を歌ったり演奏したり踊ったりしました。いっしょに歌っている人やアンコールと言ってくれた人がいて、みんな喜んでくれてうれしかったです。また機会があったら、人のために出来ることをしたいです。四月からは、大雄小学校の五年生として、みんなと力を合わせて、いろいろなことに挑戦したいです。



わたしの いきいきサロン



横手
年内最後の開催となったこの日は忘年会。中でも輪ゴム送り競争などのゲームが一番盛り上がり、今年一年の活動を笑顔で締めくくりました。



増田
認知症サポーター養成講座が行われました。認知症は誰にでも起こりうる病気で、地域で見守りや声かけをしようという機運が高まりました。



大雄
洞雲寺(横手)の柴田康裕住職の法話を拝聴しました。笑いを誘う話もあり、地域で支えあいながら生きていくことの大切さなどを学びました。

憩寿園 “ぬくもり”届き心も体も温まる 出張足湯ボランティア



“ぬぐだまる湯っこ”で足の先からぽかぽか
11月19日(水)、十文字ライオンズクラブ会員の皆さんに、憩寿園に出張足湯ボランティアとして来園いただきました。
「若獅子の湯」と名付けられた足湯は、湯沢市皆瀬地区の源泉からくみ上げられてきたもので、普段、温泉に出かける機会がないご利用者からは「温泉に入っているみたいでポカポカする」と、その心地よさから自然と笑顔がこぼれ、しばしの温泉気分を満喫されているようでした。
各方面でご活躍されている同クラブですが、昨年は車いす清掃ボランティアとして来園いただくなど、ご利用者が笑顔となる活動をお届けいただいています。

大雄 健やかな年末年始の願いを込めて 歳末見守りネットワーク事業

12月5日(金)、阿気・田根森・田村の各地区婦人会のご協力のもと、無病息災の願いを込めた「焼き餅」を作り、福祉協力員と一緒に、地域のお一人暮らしの高齢者の皆さんにお届けしました。
この活動は年末の風物詩として地域に定着しており、お届けしたお宅からは「毎年ありがたい。この時期を楽しみにしている」と、感謝の言葉をいただきました。
年々、対象となるお一人暮らしの方が増えており、安否確認や火災予防などの友愛訪問を兼ねているこの活動を通じて、皆さんに年末年始を元気で安全に過ごしていただけるよう、地域と協力しながら今後も続けていきたいと思えます。



婦人会の皆様による無病息災の願いを込めた焼き餅作り

十文字 ふれあうために福祉を学ぶ ふくし出前事業



車いすの操作を習い学校の廊下で実践しました
11月19日(水)、福祉教育活動推進校である睦合小学校の4年生児童を対象とした、高齢者疑似体験と車いす体験のふくし出前事業を行いました。
疑似体験セットを装着しての階段の昇り降りや段差を利用した車いすの操作方法などを学び、介助する側と介助される側の両方の体験を通して、身体の状態や声かけの大切さを実感していました。同校では、近隣の高齢者福祉施設との交流が盛んであり、今回学んだことをぜひ活かしていきたいとお話いただきました。
また、十文字第一小学校でも11月と12月に車いす体験と視覚障がい者の方からの講話などの出前事業を行っており、今後も学校や地域の福祉教育を応援していきます。

看護職員募集

本会が運営する特別養護老人ホームやデイサービスで働く看護職員を募集しています。
※詳細については下記へお問い合わせください。

●お問い合わせ●
本部総務課 ☎36-5377
担当：佐藤

いきいきサロンでマジックを披露していただけるボランティアを募集しています。
◆お問い合わせ先
本部地域福祉課 ☎36-5377

いきいきサロンのボランティア募集



12月4日(木)に行われた調印式
レ・メエル秋田(右) 代表取締役社長：鈴木重雄様(写真左)と市共同募金委員会 武藤会長(写真右)

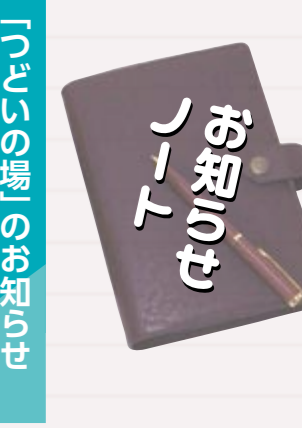
こえる補聴器
補聴器の購入金額の1.8%を赤い羽根共同募金に寄付
②レ・メエルメルメルで良く見えるメガネ
指定対象商品のメガネの購入金額の1.8%を赤い羽根共同募金に寄付

- ◆商品・企画の内容
①レ・メエルメルメルで良く聞
- ◆参加企業/レ・メエル秋田有限会社様(横手)
- ◆商品・企画の内容

横手市共同募金委員会からのお知らせ 赤い羽根共同募金 募金百貨店プロジェクト

寄付つき商品・企画による企業等の社会貢献活動「募金百貨店プロジェクト」に、市内の企業が新たに参加し、参加企業は十九社となりました。

- ◆お問い合わせ/最寄りの福祉センターまたは市地域包括支援センター
- ◆お問い合わせ先
- ◆実施主体/市地域包括支援センター
- ◆会場/市内の特別養護老人ホーム十一施設と横手を除く各福祉センター
- ◆開設日時は会場によって異なりますのでお問い合わせください。
- ◆内容/介護の不安や疲れの解消、介護の仕方などの意見交換や相談対応など
- ◆参加者/介護されている方、これから介護する方、以前に介護されていた方など
- ◆介護が必要な方とご家族が安心して暮らせるよう地域で支えあう「つどいの場」を開設しています。



善意

ありがとうございました

平成26年11月1日～11月30日受付分

広報発行回数の関係上、紙面への掲載が遅れますことをご容赦願います。

※「善意」の受付は、横手市社会福祉協議会各福祉センター・施設で行っております。
※善意は寄付金や物品等をお寄せいただいた皆様、ボランティア活動にお越しいただいた皆様をご紹介します。

【横手福祉センター受付】

- 村上 陸様 (寿町)
- 佐藤 良子様 (南町)
- 堀江 茂寿様 (間明田)
- よこて女性コーラス様
- 艶歌嘉舞義会様
- 横手清陵学院中学校・高等学校様
- 横手市ゴルフ協会様

- 明治安田生命横手営業所様
- 傾聴ボランティアささやき様

- 傾聴ボランティアささやき様
- 十文字ライオンズクラブ様

【雄水苑受付】

- 下村 蔵之助様 (荒町下)
- 樽見内保育園様
- 傾聴ボランティアひまわり様
- アンダンテの会様

【本部受付】

- パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 北海道東北住建営業部 秋田住設建材営業所様

【憩寿園受付】

- こひつじ幼稚園様

【増田福祉センター受付】

- 石田 正様 (上町)

【雄物川福祉センター受付】

- 石塚 ユリ子様 (沼田)
- 坪井 幸子様 (新丁)

【十文字福祉センター受付】

- 石田 正様 (増田・上町)

【大雄福祉センター受付】

- 雄川ハーモニカサークル様

【平寿苑受付】

- 柴田 ヒデ様 (田ノ植)



艶歌嘉舞義会の皆さんにデイサービスセンター康寿館で歌や踊りを披露いただきました



パナソニック株式会社エコソリューションズ社 北海道東北住建営業部 秋田住設建材営業所様より寄贈された車いすは雄水苑で使わせていただいています

3月31日発行号 テーマは…「思い出」

3月は卒業シーズン。大切な思い出は新たな1歩を踏み出す力となります。次号のテーマは「思い出」です。

【応募方法】
作品(1人2点まで)と氏名(ペンネーム可)、連絡先をご記入の上、ハガキやFAX、メール等でご応募ください。(様式は問いません)

〒013-0072
横手市卸町5-10
横手市社会福祉協議会
「ふくし川柳」係
FAX : 36-5388
e-mail : tiiki@yokote-shakyo.jp

【締切日】
平成27年2月27日(金)

- 一、夢を追う孫の合格叶えたい
ペンネーム パー子さん/大雄
- 一、百歳を夢見て生きる十五年
松下 タノさん/大雄
- 一、若き頃夢は都会に今ここに
松本 ツヨさん/山内
- 一、夢を持ち育てし子供に幸祈る
原田 チヨ子さん/大森
- 一、年重ね夢も願ひも健康よ
小野 良子さん/雄物川
- 一、老いてなを未来へ馳せる夢を見る
ペンネーム 宏ちゃん/増田

テーマ 夢

たくさんのお応募作品の中から数点をご紹介します。(順不同)

福祉を詠めば福来たる
ふくし川柳

特別養護老人ホーム憩寿園

特別養護老人ホーム憩寿園は次の〇〇に自信があります。

- ✓ **食事に自信あり!**
季節感を織り交ぜながら、ご利用者の健康状態に合わせて栄養士が考えた献立を基に、熟練の調理師が作る食事は絶品です。
- ✓ **ホールに自信あり!**
最近の施設には見られない開放感のある多目的ホールが自慢です。緞帳付きの舞台は、ボランティアによる芸能披露などで活躍しています。
- ✓ **桜並木に自信あり!**
施設の南側に並ぶ桜は、春になると見事な花を咲かせ、ご利用者や地域の皆さんの目を楽しませてくれます。

- ◆所在地…横手市十文字町梨木字御休ノ上108
- ◆電話…42-2510 ◆FAX…42-2555
- ◆入所定員…特養：58床、短期入所：8床

おらほのいいとこ

社協の事業所紹介



ご利用いただいております藤原新一様より感想をいただきました。
「毎日、3度のごはんを楽しみにしています。行事の時に出る“ごっつお”やたまご酒もうめな」

前号No40に掲載いたしましたご利用者：伊勢十三様の住所に誤りがありましたので訂正いたします。ご本人様、ご家族様に変えご迷惑をお掛けしましたことを心よりお詫び申し上げます。
(誤)横手・上真山 → (正)横手・下真山

社協職員のある一日



十二月十六日(火)、いきいきサロンの会場を訪れ参加者と交流しました

動を通じて、地域の見守り活動や支えあい活動にもつながるものにしていききたいと思っています。

そのためにも、活動のきっかけとなる地域の話しあいの場や住民支えあいマップの作成など、住民の皆様の声を聴く機会を通じて、地域の「助けあい、支えあい」の輪が益々広がるよう、福祉活動の実践に取り組んでいきます。

横手福祉センター 坂本 好人

市内一〇カ所で開設されているいきいきサロンは、平成七年に旧横手市社協が始めた活動ですが、約二〇年が経過した現在、地域の生きがいづくりや介護予防などを目的とした交流活動として、着実に地域に根付いた活動になったと感じています。

先日、今号の表紙にも掲載した本郷地区いきいきサロンに参加させていただきましたが、参加者の中には百歳の方もおられ、皆さんのお元気な様子と笑顔を見ることができました。いつまでもこの笑顔が続くために、地域の福祉関係者が集う場であるサロンの活

地域福祉活動日記

ふくしな人たち

ボランティアの活動から

新山 亜希子さん(平鹿)

地元を大切にしてお菓子作りと貢献活動を行っている新山さん



地元で貢献したいとの思いから、学生時代から打ち込んでいた柔道を活かし、平鹿中学校柔道部の生徒たちを指導されています。県外にいた頃から、帰省の度に同校で指導していましたが、平成24年の帰郷を機にコーチに就任。毎週、生徒の指導にあたるなど、後進の育成に努められています。

新山さんの本業はパティシエ。子どもの頃の夢が叶い、平成25年、平鹿町に菓子工房 marble (マーブル) をオープン。ご実家である食品加工場の味噌や糰、地元食材を使ったお菓子を作られています。自身の経験から、生徒が将来の夢や進路を考える授業「夢講座」の講師としてアドバイスされるなど、柔道部のコーチと合わせ、次世代の育成に努められています。

「指導している生徒が強くなっていく姿を見るとやりがいを感じます。これからもお店を続けながら、地域に貢献できる活動をしていきたいと思っています」と語る新山さん。子どもたちの夢が叶うように、益々のご活躍を期待しています。

菊地 みよ子さん(大森)

30年以上にもわたってボランティアとしてご活躍されている菊地さん。八沢木東婦人会やJA助け合い組織「さくら会」の会長を務められているほか、なつメロと踊りの会にも所属しており、芸能や清掃活動など幅広い分野のボランティアとして、大森地域内の福祉施設を中心に活動されています。

また、ボランティア活動だけではなく、平成22年までの10期30年、地域の民生児童委員として困りごとを抱えている世帯の相談対応や支援活動を通じて、地域福祉の向上に尽力されました。現在も地域の相談役として住民から頼られる存在となっています。

菊地さんの活動の原動力は、相手の方からの『喜びの声』。この声を励みに「自分の趣味を活かし、ご高齢の方々に元気を届けていきたい」と語っていただきました。持ち前の明るさと趣味の踊り、そして“お互いさまの心”で、大森地域をより元気にしてくださることでしょ

福祉施設を中心に演芸や清掃、物品等寄贈などの活動をされています



地域で福祉活動や地域貢献活動などを行っている個人、団体、企業等の情報をお寄せください。掲載数等により紙面の大きさが変わりますが、皆様の活動を紹介させていただきます。

本年もよろしくお願いたします

社会福祉協議会は、住民の皆様の参加と関係機関・団体との協力により「住みよい福祉のまちづくり」を進める、社会福祉法(第109条)に定められた民間団体です。

横手市社会福祉協議会本部 TEL.36-5377
横手福祉センター TEL.33-8668
増田福祉センター TEL.45-4848
平鹿福祉センター TEL.24-3283

雄物川福祉センター TEL.56-2072
大森福祉センター TEL.26-3274
十文字福祉センター TEL.42-5858
山内福祉センター TEL.53-3009

大森福祉センター TEL.52-3311
特別養護老人ホーム平寿苑 TEL.38-7011
特別養護老人ホーム雄水苑 TEL.22-4561
特別養護老人ホーム憩寿園 TEL.42-2510

この広報に関するご意見ご感想をお待ちしております。

横手市社協だより ●発行●横手市社会福祉協議会 〒013-0072 横手市卸町5番10号 TEL.0182-36-5377 FAX.0182-36-5388

E-mail shakyou5@agate.plala.or.jp

ホームページ <http://www.yokote-shakyo.jp/>